



Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) は、インストール時に Cisco Unity Connection サーバにインストールされます。これは Cisco Unity Web ツールにアクセスできる Web サイトで、ユーザーはこのツールを使用して、Connection でメッセージおよび個人設定を管理できます。Cisco PCA では、次のような Web ツールを利用できます。

- Cisco Unity Assistant
- Cisco Unity Inbox
- Cisco Unity パーソナル着信転送ルール

各ツールの詳細については、該当する『Cisco Unity Connection ユーザガイド』および各ツールのヘルプを参照してください (Cisco PCA から入手可能な他の Web ツールの使用方法については、ユーザガイドや Cisco Unity Web ツールのヘルプに記載されていません)。

次の項を参照してください。

- [Cisco PCA にアクセスするためのインターネットブラウザの設定 \(P.1-2\)](#)
- [Cisco PCA の GUI 言語の変更 \(P.1-3\)](#)
- [低帯域幅環境のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ \(P.1-4\)](#)
- [SSL 接続で自己署名証明書を使用する場合のセキュリティ警告の管理 \(P.1-5\)](#)

Cisco PCA にアクセスするためのインターネット ブラウザの設定

Cisco PCA および Cisco Unity Web ツールを使用するには、各ユーザワークステーション上のブラウザを設定する必要があります。コンピュータにインストールされているブラウザに応じて、適切な項を参照してください。

- [Apple Safari \(P.1-2\)](#)
- [Microsoft Internet Explorer \(P.1-2\)](#)
- [Mozilla Firefox \(P.1-3\)](#)

(各ブラウザでサポートされているバージョンのリストについては、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html から入手可能な『*互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください)

Apple Safari

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Safari を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html から入手可能な『*Cisco Unity Connection 7.x システム要件*』の「ソフトウェア要件 : ユーザワークステーション」の項を参照してください。
2. 次に示すように Safari を設定します。
 - a. Java を有効にする。
 - b. Java スクリプトを有効にする。
 - c. 移動したサイトからのみクッキーを受け入れる。

Microsoft Internet Explorer

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Internet Explorer を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html から入手可能な『*Cisco Unity Connection 7.x システム要件*』の「ソフトウェア要件 : ユーザワークステーション」の項を参照してください。
2. 次に示すように Internet Explorer を設定します。
 - a. アクティブ スクリプトを有効にする。
 - b. ActiveX コントロールをダウンロードして実行する。
 - c. Java スクリプトを有効にする。
 - d. クッキーを受け入れる。
 - e. 一時的なインターネット ファイルの新しいバージョンを自動的にチェックする。
 - f. [中 - 高] のプライバシーを有効にする。

Mozilla Firefox

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Firefox を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html から入手可能な『Cisco Unity Connection 7.x システム要件』の「ソフトウェア要件：ユーザ ワークステーション」の項を参照してください。
2. ユーザが Firefox を Apple MAC OS X または Microsoft Windows ワークステーションで実行している場合は、作業 3. に進みます。

ユーザが Firefox を Linux Red Hat ワークステーションで実行している場合は、Alsa-project.org の Web サイトにあるサウンドカード サポート マトリックスを参照して、ユーザが正しいサウンドカードを使用しているかどうかを確認します (Java Runtime Environment (JRE) プラグイン ソフトウェアは、Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) ドライバを使用して、システム サウンドデバイスにアクセスし、再生および録音機能を制御します。サウンドカードによっては、再生および録音機能が制限される場合があります)。

3. 次に示すように Firefox を設定します。
 - a. Java を有効にする。
 - b. [JavaScript を有効にする] > [JavaScript 詳細設定] で [画像を別のものに置き換える]。
 - c. クッキーを有効にする (セキュリティのため、[元の Web サイトからの cookie のみ保存する] に設定することをお勧めします)。

Cisco PCA の GUI 言語の変更

Cisco PCA で使用される GUI 言語を変更するには、インターネット ブラウザで言語を選択します。ブラウザで選択する言語は、Cisco PCA が提供する言語のいずれかである必要があります。サポートされている言語のリストについては、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html から入手可能な『Cisco Unity Connection リリース ノート』の「Cisco Unity Connection のコンポーネントで使用可能な言語」を参照してください。

低帯域幅環境のための Cisco Unity Inbox のカスタマイズ

低帯域幅環境（たとえば、低速モデムまたは支社での使用）でコンピュータのスピーカを使用して録音を再生する場合、最適なパフォーマンスと音質を得るには、メッセージをダウンロードしてから再生する必要があります。

再生中に Cisco Unity Connection サーバからストリーミングするのではなく、メッセージをダウンロードするように Cisco Unity Inbox をカスタマイズするには、次の作業を実行して、ユーザワークステーションごとに [機能] の設定を変更します（該当する場合）。

メッセージを再生前にダウンロードするように Cisco Unity Inbox をカスタマイズする

-
- ステップ 1** Cisco PCA のホームページで、[Cisco Unity Inbox] リンクをクリックします。
 - ステップ 2** Cisco Unity Inbox で、Media Master を含むページに移動します（たとえば、新しいメッセージのアイコンをクリックして新しいメッセージ ウィンドウを開きます）。
 - ステップ 3** Media Master のオプション メニューで、[再生と録音] をクリックします。
 - ステップ 4** [再生と録音の設定] ダイアログボックスの [機能] で、[再生前にすべてのメッセージをダウンロードする] をクリックします。
 - ステップ 5** [OK] をクリックします。
-

SSL 接続で自己署名証明書を使用する場合のセキュリティ警告の管理

インストール中に生成された自己署名証明書を使用して Cisco PCA に SSL 接続する場合、ユーザの Web ブラウザに、サイトの正当性を検証できないためにコンテンツが信頼できないことを警告するメッセージが表示されます。同様に、自己署名の SSL 証明書を使用して IMAP 電子メールクライアントから Connection へのアクセスをセキュリティで保護する場合、Connection でサポートされている電子メールクライアントに SSL セキュリティメッセージが表示されることがあります。

Cisco PCA を参照したり、IMAP 電子メールクライアントからメッセージにアクセスしたりする際に表示される警告メッセージにかかわらず、ユーザは Connection にアクセスできますが、次のいずれかのオプションを使用することで、このセキュリティ警告を管理または排除できます。

- SSL 証明書を各ユーザワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する。このようにすると、ユーザに対してセキュリティ警告が表示されなくなります。次の「[SSL 証明書をユーザワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する](#)」の手順を参照してください。
- ブラウザまたは電子メールクライアントに警告が表示されて対処方法が問われたときに、「常に受け入れる」といったオプションを選択するようにユーザに指示する。常に証明書を受け入れるようにブラウザや電子メールクライアントを設定すると、ユーザに対して警告が表示されなくなります。

ユーザに対してセキュリティ警告が繰り返し表示されないようにする場合は、次の手順を実行します。

SSL 証明書をユーザワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバの OS Administration アプリケーションから証明書を右クリックしてダウンロードし、ファイルとして保存します。
- ステップ 2** 証明書を各ユーザワークステーションにコピーし、必要に応じて、ブラウザまたは IMAP クライアントのツールを使用してインポートします。
-

■ SSL 接続で自己署名証明書を使用する場合のセキュリティ警告の管理